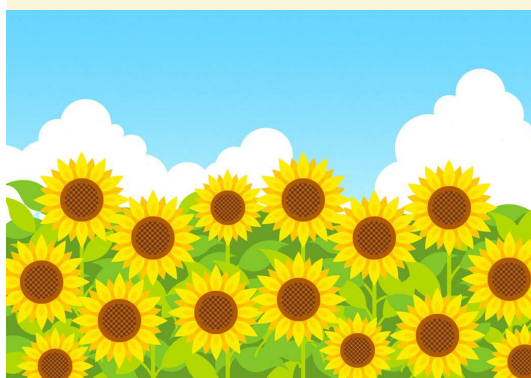


第2回多職種連携推進・研修部会を開催しました



2019年7月30日

第2回多職種連携推進・研修部会

7月30日（火）福祉交流プラザ2階すこやかなくらし包括支援センターミーティングスペースにて、第2回多職種連携推進・研修部会を開催しました。参加者は、部会メンバー5名と在宅医療推進センターコーディネーター2名、事務局3名です。

5月に開催した第1回の部会では、今年度の活動について、他部会と連携しながら取り組んでいくこと、また、リーダーの活躍の場を設定していくことを確認しました。

第2回の部会では、多職種連携研修会やリーダーの活用について、具体的な内容を検討しました。

多職種連携研修会について

・第1回：9月27日（金）

「地域連携連絡票・MCネットについて学ぶ」

・第2回：10月18日（金）

「退院前カンファレンスについて学ぶ」

・第3回：11月15日（金）

「サービス担当者会議について学ぶ」

・対象者：30名程度（医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、相談員、リハビリ職、管理栄養士、ケアマネジャー、介護サービス事業所など）

○第1回研修会は、ICT連携部会と連携して開催します。多職種連携の共通ツールとしての地域連携連絡票について、多職種で意見交換し理解を深める他、多職種の情報共有を円滑にするMCネットの紹介も行います。

○今後、各職能団体へ研修受講者の推薦依頼等を行い、受講者を決定していく予定です。多職種の連携がさらに進んでいくよう、取り組んでいきます。

昨年度の受講者へのアンケートについて

○「地域連携連絡票を知るきっかけになった」、「地域連携連絡票の作成が大変で時間がかかる」という回答がありました。

○入退院時の、病院側とケアマネジャーの知りたい情報と伝えたい情報に相違があることが見えてきました。

リーダーの活用について

○9月に開催される入退院時支援部会の研修会において、これまで養成したリーダーに協力いただき、地域連携連絡票の活用方法について紹介する予定です。詳細は、今後、入退院時支援部会と連携しながら検討していきます。